稲荷山～あやめ園～長勝寺コースガイド　【所要時間】約２時間

長勝寺東市営駐車場（トイレ）→稲荷山公園→お里塚→まちかどギャラリー（トイレ）→

関戸覚蔵碑→北利根川→あやめ園（トイレ）→長勝寺→長勝寺東駐車場

１．稲荷山

江戸時代の稲荷山は江戸時代末期迄、水戸藩より御朱印１０石の拝領を与えられた寺領地で御朱印山と称しました 。

（1）遺愛亭跡

８号古墳付近に，水戸光圀公が潮来を訪れた時に使われた「水戸光圀公御休処遺愛亭」があります。稲荷山から美しい景色を眺めるためにたびたび訪問されたと、伝えられています。

↓１０分

（2）菊地寛実（ｷｸﾁﾋﾛﾐ）碑

石炭業界で実業家として活躍する傍ら、大正１５年（１９２６年）には東京通運（内国通運、日本通運 前身）の経営に参与し、昭和６年（１９３１年）に水郷の観光汽船の機軸となる水郷汽船株式会社を設立します。会社設立に合わせ大型観光船『あやめ丸』と『さつき丸』の二つの観光船を建造し、土浦と鹿島大船津間の花形航路を就航し、潮来地方の観光開発に努めました。菊池寛実氏の逝去後二年目の昭和４４年（１９６７年）に画期的な水運事業を興して、多くを郷村の人々に遺した業績を讃え、霞ヶ浦や水郷を見渡せる稲荷山公園の一角に顕彰碑が建てられました。菊地寛実は霞ヶ浦大利根の水運開発を行い世に広め、国定公園水郷の育ての親と言われる人です。

↓５分

（3）古墳

稲荷山公園には大生原台地から南に延びる細長い舌状台地の先端部に立地しており、３基の前方後円墳と５基の円墳があります。７世紀初頭の後期古墳と思われます。

↓５分

（4）橋本登美三郎碑

（5）稲荷神社

（6）潮来築堤記念之碑

（7）潮来町立女子技芸学校跡碑

（8）茨城百景の碑

（9）野口雨情の「船頭小唄碑」

（１０）展望台

↓10 分

２．お里塚

島崎義幹の奥方「お里の方」は、島崎城の落城後、下総へ逃れようとしましたが、佐竹の兵に追撃され、自害しました。　後に人々が奥方の死を悼み、塚を築いて供養しました。現在、塚は形を失い、祠だけが残っています。

↓3分

３．まちかどギャラリー：　説明１０分

↓１７分

4．関戸覚蔵碑

関戸覚蔵は、弘化元年(１８４４年)潮来村で生まれました。少年時代に宮本茶村先生の塾で学問に励み、青年時代は、幕末の水戸藩の党争の真っ直中を生き抜きました。その後、明治維新による近代の夜明けとともに、明治９年(１８７６年)潮来村戸長(現在の村長)に任命されました。また、自由民権運動に共鳴、参加し、民権結社「公益民会」を興し、国会開設の請願に当たっては茨城県委員の総代を務めました。こうした自由民権運動を背景に、明治１４年には行方郡選出の県会議員に当選して活躍、明治２４年には、「いはらき」新聞を創刊し、自ら初代社長に就任、同25年には衆議院議員に初当選しました。

多年の政治、言論活動で家産を傾けた先生は、晩年、政界を引退し清貧のなかで著述に専念。明治３６年「東陲民権史」を刊行し、大正５年(１９１６年)５月９日７３歳の生涯を閉じました。

↓１０分　　　　　　＜立原佃煮店：スズメ焼き＞

5．北利根川

↓１０分

6．あやめ園

昭和３１年に前川の旧水雲橋の近く（潮来ホテル前）に鹿島参宮鉄道（現関東鉄道(株)）により、あやめ園が開園され昭和５１年からは当時の潮来町の管理となり現在に至っています。

昭和３４年に「水郷国定公園」が全国２０番目の国定公園として指定されました。（その後筑波山等を加え昭和４４年水郷筑波国定公園となりました。）現在では約１．３ｈａの敷地に約５００種、１００万株の色とりどりのあやめ（花菖蒲）が咲き誇る景勝地となっています。

↓２０分

思案橋経由

7．大門河岸

↓１０分

8．長勝寺　：説明時間２０分程度

源頼朝が文治元年（１１８５年）鹿島に隣接するこの地に武運長久を祈願して創建したと伝えられています。臨済宗妙心寺派に属し海雲山と号します。本尊は阿弥陀如来で、銅鐘は国の重要文化財です。

仏殿、山門は禅宗様建築の特徴を示しており地方としては貴重な遺構です。

境内には鹿島紀行の芭蕉句碑もあり春の桜、６月の菩提樹、秋の紅葉、２月の梅も目を楽しませてくれます。

↓２０分

9．長勝寺東市営駐車場